

国語科学習指導案（国語総合）

香川県立高松北高等学校

- 1 日 時 平成29年10月25日（水） 第3校時（10：50～11：40）
- 2 場 所 1年4組HR教室
- 3 学 級 1年4組（男子20名、女子19名、計39名）
- 4 生徒観 落ち着いて真面目に授業に取り組む一般クラスである。一方で、自分の意見に自信がもてず、話し合いや発表の場で消極的になってしまう生徒も少なくない。様々な役割の中から自分の「得意」なものを選んでグループ活動に参加することで、自信をもたせていきたい。
- 5 使用教材等 [教科書] 高等学校 改訂版 国語総合（第一学習社）
[副教材] ～古典単語と一緒に学ぶ～これからの古典文法 改訂版（尚文出版）
新訂三版 カラー版新国語便覧（第一学習社）
[準備物] 古語辞典、ワークシート
- 6 単元名 物語を楽しむ 「芥川」（伊勢物語）
- 7 取り上げる言語活動 ○グループワークを通して女の人物像について話し合い、発表する。また、本文の続きの口語訳に取り組み、内容を理解する。
- 8 単元の目標 ○班で協力して理解を深め、意見を発表したり他の人の意見を聞いたりすることを通して自らの視野を広げる。（関心・意欲・態度）
○歌物語を読み、描かれた場面や登場人物についての的確に捉える。（読む能力）
○文法事項に注意して、正しく口語訳する。（知識・理解）
- 9 全体計画 一校時 本文の通読、歌物語、在原業平について
二校時 助動詞「き」「けり」「ず」「まじ」の理解
三校時 本文の読解
四校時（本時） まとめ
五校時 //

10 評価の観点・方法

①関心・意欲・態度	②読む能力	③知識・理解
自分の責任を果たすとともに、グループとしての考えをまとめようとしている。	口語訳から登場人物の特徴や心情を読み取るようとしている。	語句の意味、読み、指示語を理解しようとしている。

11 本時の目標

- 口語訳から登場人物の特徴や心情を理解することができる。
- グループで根拠を挙げつつ話し合うことで、女の人物像をとらえることができる。

12 学習指導計画

	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価
導入 (5分)	前時の学習内容の確認	本文の内容を確認する。	教科書やノートなどを見ながら本文の内容を確認させる。	①
	本時の目標の確認	本時の学習内容と目標を確認する。	「手に入れることができそうもない」女(男)についての一般的な意見を述べさせたうえで、本時は本文に登場する女の人物像について考え、発表をすることを周知する。	
	役割の決定	四つの役割から自分の役割を決定する。	各班で係(司会、記録、まとめ、発表)を決めさせる。	
展開 (40分)	話し合い (女の人物像について) (10分)	班で意見を交換し、ワークシートを完成させる。	「え得まじかりける女」の人物像を本文に即して考えさせる。係の役割に従って話し合い、発表をするよう指示する。	①②
	発表 (10分)	各班の発表を聞く。	各班のワークシートを画面に大きく映して発表させる。	
	本文の続きの読解 (20分)	班で分担して口語訳を完成する。	生徒を指名し、口語訳させる。解説を加えながら女の人物像やこの物語の真相を理解させる。	
まとめ (5分)	本時のまとめ	平安時代と現代の恋愛事情の違いを理解する。	「え得まじかりける女」の人物像や男の行動の意味と心情、この物語の真相について理解させる。	①②
	次時の予告	次時の学習内容を確認する。	次回は、この段の総復習を行ってから新しい単元に入ることを周知する。	